

# ハイブリッド・クラウド環境を対象にした Oracle Audit Vault クラウド・ターゲット

## ORACLE<sup>®</sup> AUDIT VAULT AND DATABASE FIREWALL

クラウドが急速に採用される中、企業はますます、オンプレミスとクラウドそれぞれにデータベースがデプロイされるという状況に直面するようになっていきます。これらのデータベースをすべて保護すること、なるべくなら統合されたセキュリティ・インフラストラクチャで保護することが課題です。Oracle Audit Vault and Database Firewall は、オンプレミス・データベースのアクティビティを常時監視し、データベースやオペレーティング・システム、ディレクトリからの監視イベントと監査データを統合します。また、クラウド内のデータベースも監視されるようになったため、一部のデータベースはオンプレミスにあり、その他のデータベースはクラウドにあるハイブリッド・クラウド環境の監査をサイトで統合できます。Oracle Audit Vault and Database Firewall をハイブリッド環境で利用することで、オンプレミス・データベースで使っていた制御機能をクラウド・ターゲットにも拡張することができます。

### ビジネス上のおもなメリット

- ハイブリッド・クラウド環境におけるアラートとレポートの一元化
- オンプレミス・データベースとクラウド・データベース双方で一貫したセキュリティ・ポリシー
- オンプレミス環境とクラウド環境で同じインフラストラクチャとオペレーションを利用することで、TCO を低減

### オンプレミス・ソリューションによる クラウド・データベースの監視

クラウド・データベースのリスク・プロファイルはオンプレミス・データベースとは異なります。サード・パーティの管理者が管理可能であり、より幅広いユーザー集団を受け入れ、さまざまなネットワーク保護メカニズムを使用します。データベースがオンプレミスまたはクラウドのどちらかにデプロイされていても、データベース・アクティビティを監視することは、セキュリティ制御の鍵となります。組織は、オンプレミス・データベースを監視するようにクラウド・データベースを監視することを望んでいます。余計な操作やインフラストラクチャ・コストは増やしたくないと考えています。また、クラウドからオンプレミスに監査データを送信することで、データ改ざんの可能性を最小限に抑え、監査データを完全にコントロールしてレポートとアラートに対応したいと望んでいます。そうすれば、職務を分離して、より強力なセキュリティ保証を実現できます。

### ハイブリッド・クラウド環境を対象にした Oracle Audit Vault

オンプレミスとクラウド双方のデータベース・ターゲットでオンプレミス・セキュリティおよび監査インフラストラクチャを利用すると、一貫性のあるポリシー、統合されたレポート、共通のアラート管理など、多くのメリットを得られます。オンプレミスの Oracle Audit Vault Server はハイブリッド・クラウド環境で、オンプレミスと Oracle Database Cloud Service (Oracle DBCS) 両方のインスタンスから監査データを収集します。オンプレミス・エージェントは、暗号化されたチャネルを介して DBCS インスタンスから監査データを取得し、オンプレミスの Audit Vault Server に送信します。クラウド・インフラストラクチャで適切なポートを開く以外、オンプレミスのネットワークの変更は不要です。

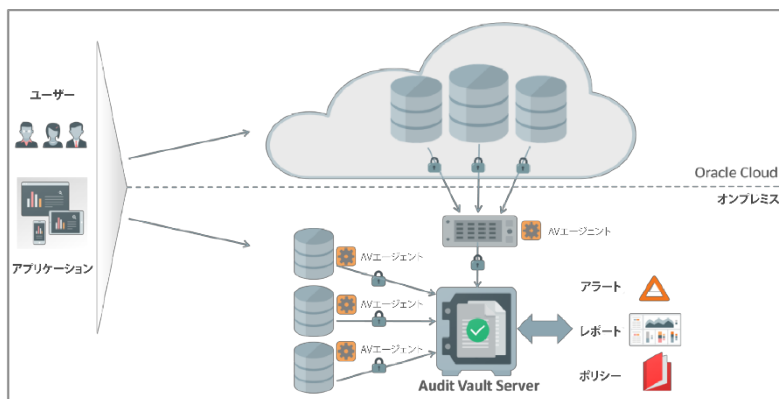
### おもな機能

- Oracle DBCS ターゲットからのセキュアな監査データの収集
- オンプレミスの Oracle、MySQL、SQL Server、Sybase、IBM DB2 データベースの監査データを各種オペレーティング・システムのデータとともに統合
- クラウドとオンプレミス双方のターゲットを組み込んだ対話形式の PDF と Excel のレポート

### 関連製品

Oracle Database 12c の多層防御セキュリティ・ソリューション：

- Oracle Advanced Security
- Oracle Data Masking and Subsetting
- Oracle Database Vault
- Oracle Key Vault
- Oracle Label Security



Oracle Audit Vault and Database Firewallのハイブリッド・クラウド導入アーキテクチャ

## ハイブリッド・クラウドの一貫したセキュリティ・ポリシーとオペレーション

ほとんどの企業はすでに、オンプレミス・データベース・インスタンス用の既存のセキュリティ・ポリシーと監査ポリシーを実施しています。Oracle DBCS とオンプレミス双方のデータベース・インスタンスに同じ Audit Vault Server を利用すると、同じ監査ポリシーがすべてのデータベース・インスタンスに確実に適用されます。同様に、既存のアラート構成とデータ保存ポリシーをクラウド・データベースに適用できます。その結果、オンプレミスとクラウドの構成タスクとメンテナンス・タスクに同じリソースを利用できます。

## ハイブリッド・クラウドにおける企業の監査データ統合

ネイティブの監査データからは、データベース・アクティビティの全体像だけでなく、SQL 文が直接実行されたか、動的 SQL を通じて行われたか、ストアド・プロシージャ経由で実行されたかに関係なく、すべての実行コンテキストが提供されます。ネイティブの監査は、すべての DBCS インスタンスであらかじめ有効に設定されており、オンプレミス・インスタンスではネイティブの監査が推奨されます。Audit Vault Server は、オンプレミス・データベースの表、OS、トランザクションのログから監査データを収集し、クラウド・データベースの表ベースの監査証跡から監査データを収集します。

## カスタマイズ可能できめ細かなレポートとアラート

標準で搭載されている多数のレポートにより、SOX、PCI DSS、HIPAA の規制に確実に準拠できます。これらのレポートは、オンプレミスまたはクラウドのどちらにあるかを問わず、監視対象システムから監査データを集計します。クラウドとオンプレミスのターゲットからのイベント・データを組み合わせることで、フィルタリングし、対話形式または PDF や Excel 形式のレポートを表示することで、詳細な傾向分析を提供します。Security Manager は、データベースへの不正アクセスやシステム権限の乱用が試みられたことを示す可能性のあるアクティビティに対して、しきい値に基づいたアラートを定義できます。



#### お問い合わせ

Oracle Audit Vault and Database Firewall について、詳しくは [oracle.com](http://oracle.com) を参照するか、+1.800.ORACLE1 でオラクルの担当者にお問い合わせください。

#### CONNECT WITH US



[blogs.oracle.com/oracle](https://blogs.oracle.com/oracle)



[facebook.com/oracle](https://facebook.com/oracle)



[twitter.com/oracle](https://twitter.com/oracle)



[oracle.com](http://oracle.com)

#### Integrated Cloud Applications & Platform Services

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。0318



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment